

第4学年社会科学学習指導案

平成25年10月29日(火)

5校時 1時40分～

会場：調布市立国領小学校学校図書館

児童：4年3組 28名

授業者：担任 松田 恵子

司書 森 夕佳

平成25年度 全日本小学校図書館研究部 研究テーマ

豊かな人間性と学校図書館

- 1 小单元名 わたしたちの東京都と日本 オリエンテーション
「県民ショーをしよう」

～地図帳や資料をつかって都や県の特徴を知ろう～

- 2 小单元の目標

・日本には47都道府県があることをつかみ、県の特徴に関心を持ち、調べていく意欲をもつことができるようにする。

- 3 評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】47都道府県に対する関心を持ち、意欲的に調べようとする。

【社会的な思考・判断・表現】47都道府県の資料を読み、おおまかな特徴をつかむ。読み取った特徴を自分の言葉で表現する。

【観察・資料活用の技能】47都道府県の特徴について、地図帳・書籍資料などを活用し、必要な情報を読み取っている。

【社会的事象についての知識・理解】47都道府県のおおまかな特徴について理解している。

【言語力】違う課題を調べた児童同士で情報を交換している。学習したことを自分の言葉で表現している。

- 4 単元について

今回の学習指導要領改訂のポイントの一つとして、第4学年における47都道府県の名称と位置の学習の重視があげられる。都道府県についての知識は個人差が大きく、正しい日本の国土理解が課題とされ、小学校終了までには確実に身につけるよう示されている。

自分の住んでいる東京を理解する上で、他県と比較すると、気象、風土などの特徴もよりわかりやすい。都道府県単位の広がりでとらえると、地理的な特色や、産業、文化などもつかみやすく、今後の東京都の学習につなげていくことができる。保護者も全国から集まっているので、東京への愛着とともに、両親の出身地に関心もつ子どもも多い。旅行して立ち寄った地方への思いなどを是非学習にいかしていきたい。まずは位置や自然に注目し、東京都より北にある、、、南にある、、、ということが平均気温の上下にもつながり、産物の違いにもあらわれるなど5年の社会に発展して関連付けて考えるよう指導できればと願っている。

- 5 児童の実態と学習経験

本单元に関わり、4年進級時に47都道府県の名称と位置の学習を開始し、8割以上暗記している子どもが半数いる。3年時より社会や総合の調べる学習に意欲的にとりくむ子どもが多い。学習の最後に本やパンフレットなどを作成し、まとめる力がのびている。読書を好み、内容の深い

本を読む子どもも増えてきた。

毎年段階を踏んで森司書から利用指導を受けて調べる学習を続けているので、分類番号や、目次、索引、検索のしかたなど自分の学習に活かせるようになってきている。5月にはポプラディアの使い方なども外部講師に教わり、事典にも親しみ始めている。

4年1学期の算数の単元で表とグラフの見方を学び、各県庁所在地の平均気温の比較なども経験している。9月には年鑑の調べ方の学習をして、ひとり1冊朝日年鑑を手にして、目次や索引を手がかりに県の特徴を見つけることを学んだ。とはいえ、知りたい事を目次から探してそのページをさがりあて、内容を読み取るのは難しい。しかし、どの子ども、自分の力で探そうという意欲があり、知る喜び、驚きを感じているようで嬉しく思う。

6 単元の指導計画（4時間扱い）

	時	○学習活動・内容	◎指導上の留意点 ☆評価
つかむ	1	○日本には47都道府県があることをつかみ、調べていく意欲をもつ。 ○自分の興味をもった県を選ぶ。 県の特徴について調べる計画をたてる。 ○地図帳の資料ページを活用し、位置、県庁所在地の気温、県の花、木、鳥について調べカードに記入する。	◎基本的な地図帳の使い方（索引、統計）をおさえる。 ◎自分の郷里、旅行したところ、テレビで紹介された土地などを思い出させる。 ☆47都道府県に関心をもつ。 【関心・意欲・態度】 ☆地図帳を活用する。【技能】
し ら べ る	2 本 時 3	○県の特徴について図書室の資料を使って調べカードに記入する。 ○調べた中で驚きや発見をした人は友だちに伝える。	◎資料の使い方の説明を学校司書より受ける。 ◎県の概要がのっている子ども用の資料と、各県の発行している観光資料などを机上に用意する。 ☆興味をもって資料を読む。 ☆特徴をつかみカードに記入する 【関心・意欲・態度】 【技能】 【思考・判断・表現】 【言語】
伝 え る	4	○自分が調べた県の短い紹介を県民ショーで発表する。各地方ごとに県の位置を確認する。	◎調べたことをはる日本地図を用意する。 ☆47都道府県に関心をもつことができたか。 ☆友たちと交流できたか。 【関心・意欲・態度】 【言語】

7 本時の学習 (2/4)

(1) ねらい

- ・自分の選んだ県の興味をもった特色について調べて、メモをとることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 評価 (☆)
<p>1. 学習課題を確認する。 地図帳ではわからなかったことを新たな資料にあたって調べる。</p>	<p>○県の形をかいたカードに調べたことを記入し、友だちに伝えることを知らせる。</p>
<p>自分の興味をもった県の特色を調べよう。</p>	
<p>2. 調べる前に森司書による資料の紹介を聞く。 県についての情報が網羅されている本、テーマ別にまとめた本、都道府県のパンフレットなど新たな資料の紹介を聞く。目次の学習などを振り返る。(拡大投影機で見せる。)</p>	<p>○机の上に資料を予め置いておき、地方別に着席する。机の上に書籍とパンフレットのセットを置いておく。シリーズ本は分けて、パンフレットは県別ファイルに入れて用意する。その他に個別に必要なと思われる書籍はブックトラックに別に用意する。</p>
<p>3. 机上の資料を手にして、紹介された書籍から県の情報をさがし、自分が知らなかった情報や他県と違う特徴をカードに書き写す。</p>	<p>☆司書の本の紹介を聞き、自分でも興味をもって資料を手に取り読むことができる。 【関心・意欲・態度】 【技能】 ☆手にした資料の中から自分の探す情報を見つけることができる。【理解】 ○調べたい事を読み取れない子には本の該当のページの読み取りを助ける。</p>
<p>4. 初めて知ったこと、驚いたこと、友だちに伝えたい事を発表する。友だちの発表を聞き、違った視点を持つことを知る。</p>	<p>☆友だちに特色を伝えようとする。発表に興味を持って聞く。【言語】</p>
<p>5. 調べた感想を発表する。 6. 司書と担任が授業をふりかえる。</p>	<p>○自分の住んでいる地域から、興味をもつ範囲を広げていくことの楽しさを伝える。</p>

- (3) 評価 自分の選んだ県について興味をもって資料を読み、特色を書くことができたか。

都道府県

県庁所在地

年 組

調べたい理由

位置

気温

花木鳥

調べたいことから

特色ある食べ物



凡例
----- ■ 城
----- 都道府県の境界

0 300km

本のリスト

- ・探Q日本のひみつ まちでみつけた日本のきせつ 帝国書院
- ・最新版 都道府県大図解 日本の地理 1～11 学研
- ・最新版 日本の地理 1～8 学研
- ・探検・発見私たちの日本 1～7 小峰
- ・新版 都道府県別 日本の地理データマップ 小峰
- ・ポプラディア情報館都道府県日本地理 ポプラ社
- ・統計資料で見る日本地図の本 岩崎
- ・朝日ジュニア学習年鑑 2013 朝日新聞社
- ・新日本各地のくらし 1～10 ポプラ社
- ・図説学習日本の地理 日本の地理 1～7 旺文社
- ・調べてみようふるさとの産業・文化・自然 農文協
- ・統計、資料で見る日本地図の本 岩崎
- ・ふるさとおもしろ食べもの百科 1～5 日本図書センター
- ・郷土料理ポプラディア情報館 ポプラ社
- ・「食」で地域探検 1～6 岩崎書店
- ・ふしぎがいっぱい！ニッポン文化 1～3 旺文社
- ・おくむらあやお ふるさとの料理 農文協
- ・おもしろふしぎ日本伝統食材 1～8 農文協
- ・ジュニア都道府県大図鑑ジオ 学研
- ・都道府県クイズ 1～6 国土社
- ・郷土料理大図鑑 PHP 研究所
- ・朝日ジュニア学習年鑑 2013 朝日新聞出版
- ・月刊ポプラディア 2005年12月号 北海道と沖縄県 ポプラ社
- ・にっぽん探検大図鑑 小学館
- ・地図で知る日本こども図鑑 旺文社
- ・広島お好み焼き物語 PHP 研究所
- ・たこやきのナゾ 草土文化
- ・47 都道府県発行観光資料